

更新後の北信地域編(案)

10. 北信地域

10-1 地域特性など

- 北信地域は県の北東部に位置し、千曲川が地域の南西から北東に向けて流れています。長野盆地から千曲川に沿って続く平坦地、扇状地に市街地が形成され、高社山を境に岳北、岳南に市街地が分かれています。ほぼ全域が特別豪雪地帯に指定され、冬期は公共交通の運行に支障を来すことがあります。
- 県内でも人口減少、高齢化の進展が顕著であり、集落機能の低下が課題となっています。
- 南西で接する長野地域との流動が多く、県内 10 圏域間の流動でも最も多いものとなっています。また、栄村では、北東側で県境を接する新潟県津南町、十日町市との流動がみられます。
- 総合的な診療を行う中核病院として、中野市の北信総合病院、飯山市の飯山赤十字病院があります。高等学校は岳北、岳南それぞれ 2 校あり、飯山市に飯山養護学校があります。商業施設等が多く立地している地区として、中野市中心部、飯山市中心部があります。
- 域内に志賀高原、野沢温泉といった海外からも評価が高いスノーリゾートが多数あり、冬期は多くの観光客が訪れます。その他、飯山市の斑尾高原、山ノ内町の地獄谷野猿公苑（スノーモンキー）、湯田中渋温泉郷、栄村の秋山郷などが主要な観光地です。

10-2 地域公共交通の概況

- 北陸新幹線が地域内を走っており、首都圏と北陸地域を結んでいます。飯山駅は、当地域における首都圏、関西圏からの玄関口の機能を果たしています。
- J R 飯山線が千曲川に沿って走り、南は長野市の豊野駅でしなの鉄道北しなの線に、北は新潟県長岡市の越後川口駅で J R 上越線に接続しています。また、長野電鉄長野線が長野市から運行しており、中野市を経て山ノ内町の湯田中駅までを結んでいます。これら両路線により流動の多い長野地域との移動需要に対応しています。
- 地域間幹線系統のバスとして長電バスの上林線、永田線、野沢線、中野木島線の 4 路線（令和 5 年 10 月 1 日現在）があります*。また、南越後観光バスの湯沢線が該当しています。
- この他に長電バスの事業者路線として菅線があります**。コミュニティ路線として市町村界を跨ぐものが 4 路線あり、このうち木島平村シャトル便と野沢温泉ライナーは、北陸新幹線からの二次交通としての位置づけを持つ路線となっています。

* 永田線は R8 年 3 月 31 日廃線予定。野沢線、中野木島線は R8 年 10 月 1 日中野木島野沢線に統合予定

** 菅線は R8 年 9 月末をもって廃線を検討

10-3 地域公共交通の課題

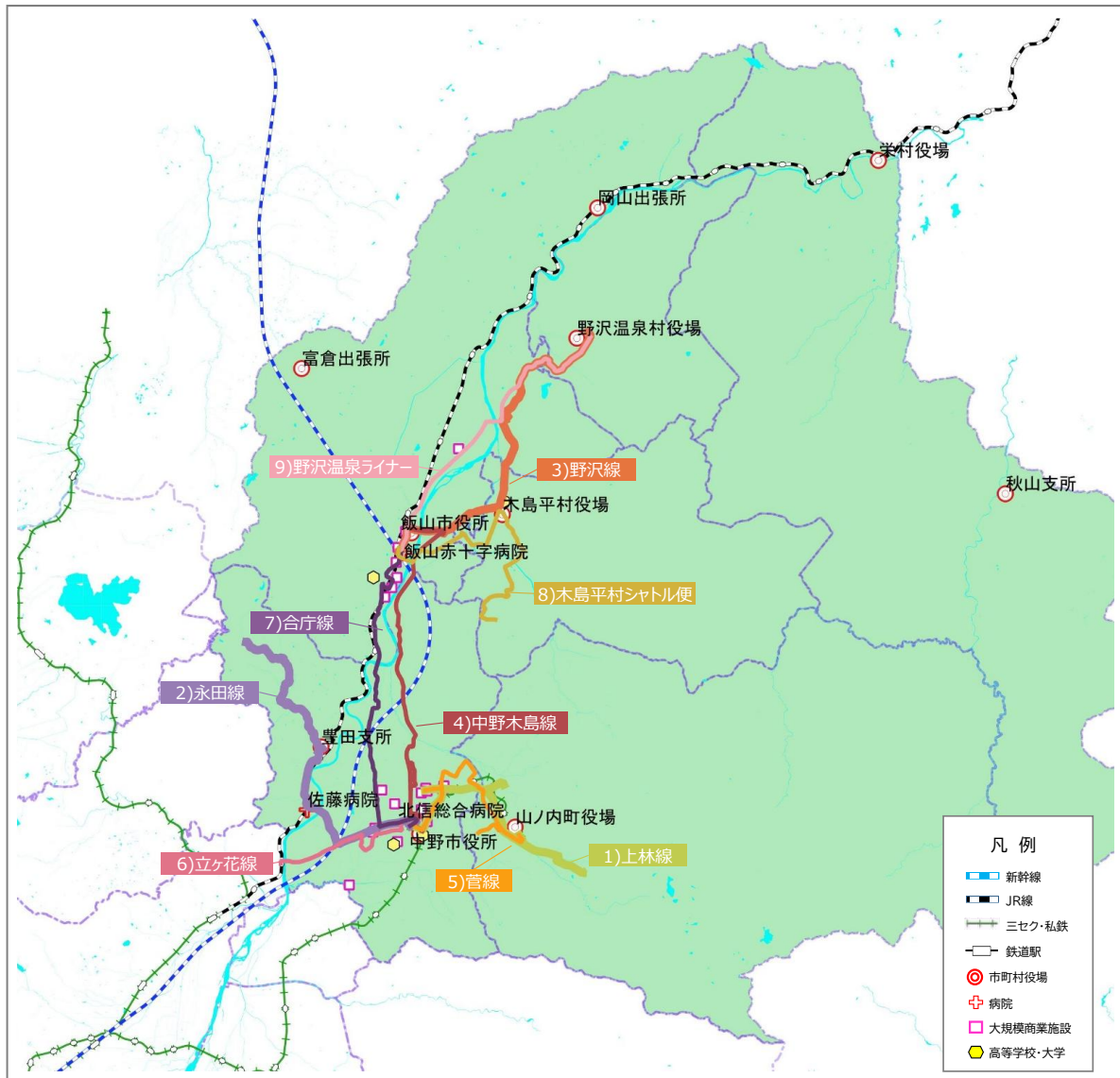
- 人口減少により公共交通の利用者が減少し、地域全体で公共交通網の維持が困難な状況です。J R 飯山線は平均通過人員 2,000 人／日未満の路線として公表されており、特に戸狩野沢温泉～津南区間における利用が非常に少ない状況です。バス路線では、地域間幹線系統の一部の路線において国庫補助事業の補助基準となっている輸送量を下回る可能性があります。また、バス事業者において運転手の確保が課題となっています。
- 一方、高齢化の進展と高齢者の運転免許返納の増加により、自家用車を運転しない高齢者の移動手段の確保が課題となっています。また、人口・若者定着には地域内の高校に通学できることが重要であり、通学手段として地域公共交通の維持が必要です。
- インバウンド急増に伴う観光客の移動需要の増加に対応する必要があります。圏域拠点である飯山駅、信州中野駅は、鉄道によるアクセスが確保されているため、これらと観光地を結ぶ二次交通の整備が課題です。
- 利便性向上に関する課題としては、交通系 IC カード導入の遅れなどキャッシュレス決済環境の整備や、観光客が円滑に移動できるよう経路検索サービスの提供や運行情報掲示板の設置による情報提供環境の整備が挙げられます。また、豪雪地帯という特殊要因から、バス路線の乗継で冬期でも待合いできるような待合設備の設置による利用環境を整備する必要があります。

市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

令和5年10月1日現在
 (データの年次は令和4年度のもの。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線 距離 (km)	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	長電バス	上林線	14.0	6.5	29,058	30.3%	3,421.5
2			永田線*	16.6	7.4	19,218	30.7%	1,040.5
3			野沢線**	16.3	10.6	54,678	42.3%	4,591.0
4			中野木島線**	17.9	6.0	54,287	59.0%	6,440.0
5	事業者路線 (その他一般路線)	長電バス	菅線***	14.0	4.6			
6	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	長電バス	立ヶ花線	8.0	2.6			
7			合庁線	17.7	4.6			
8		岳北ハイヤー	木島平村シャトル便	13.1	3.5			
9		のざわ温泉交通	野沢温泉ライナー	14.6	20.0			

* R8年3月31日廃線予定 ** R8年10月1日中野木島野沢線に統合予定 *** R8年9月末をもって廃線を検討



10-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点・路線					
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	飯山市 新潟県	・飯山駅 ・越後湯沢駅				
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点	中野市 飯山市	・信州中野駅 ・飯山駅				
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ③地域拠点(病院) ③地域拠点(高校・特別支援学校) ③地域拠点(観光地) </div>	中野市	北信総合病院 中野立志館高校 中野西高校				
				飯山市	飯山赤十字病院 飯山高校 飯山養護学校 斑尾高原 戸狩温泉 道の駅 花の駅千曲川				
				山ノ内町	・湯田中駅 志賀高原山の駅 奥志賀高原 横手山 北志賀高原 湯田中温泉 渋温泉 野猿公苑				
				野沢温泉村	・中央バスターミナル 野沢温泉				
				木島平村	・木島平村役場 下高井農林高校				
				栄村	・森宮野原駅				
				軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道	北陸新幹線[JR東日本]
					【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道	・飯山線[JR東日本] ・長野線[長野電鉄]
【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス		・上林線[長電バス] ・中野木島野沢線[長電バス] ・合庁線[長電バス] ・木島平村シャトル便[木島平村] ・野沢温泉ライナー[野沢温泉村] ・湯沢線[南越後観光バス]				
【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	—		—				
【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス		・各市町村のコミュニティバス等				

10-5 保証すべき品質

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準			
	通院	通学	観光	対象路線	運行日	運行時間帯	運行本数
【B】 主要幹線	当該路線の北信地域内の各駅から地域医療を担う北信総合病院及び飯山赤十字病院に午前中(概ね 7~10 時)に到着できる列車がある。診療を終え、午後の早い時間帯(概ね 12~14 時)に帰宅できる列車がある。	当該路線の北信地域内の各駅から飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山養護学校へ始業時間に間に合うよう登校できる列車がある。下校時は、終業後及び課外活動終了後、帰宅できる列車がある。	※令和 8 年度以降に設定予定	・飯山線 [JR 東日本] ・長野線 [長野電鉄]	平日・土日とも (同水準で運行)	概ね 6~22 時	20 往復/日程度 (下記以外) 8往復/日程度 (飯山線戸狩野沢温泉駅以北)
【C】 幹線	当該路線の沿線の居住区から北信総合病院及び飯山赤十字病院に午前中に到着できる便がある。診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる便がある。	当該路線の沿線の居住区から飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山養護学校へ始業時間に間に合うよう登校できる便がある。下校時は、終業後及び課外活動終了後、帰宅できる便がある。		・上林線 ・中野木島野沢線 ・合庁線 ・木島平シャトル便 ・野沢温泉ライナー ・湯沢線	平日・土日とも (土休日は減便・運休を許容 ただし、別路線での補完 や利用実態に応じた移動手段の確保について検討)	概ね 7~19 時 平日 (通学に関し、利用実態等に応じて登下校に必要な便を確保)	概ね5~7 往復/日 平日 (通学に関し、利用実態等に応じて登下校に必要な便を確保)
【D】 準幹線	北信地域において【D】準幹線の設定は現時点でないが、設定する場合は概ね【C】幹線と同等の水準とする。						
【E】 支線	以下の水準を基本とし、利用実態等に応じて各市町村において設定することとする。						
	当該路線の沿線の居住区から直接若しくは【C】幹線への乗継ぎにより北信総合病院及び飯山赤十字病院に午前中に到着できる便がある。診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる便がある。	当該路線の沿線の居住区から直接若しくは【C】幹線への乗継ぎにより飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山養護学校へ始業時間に間に合うよう登校できる便がある。下校時は、終業後及び課外活動終了後、帰宅できる便がある。			平日・土日とも (土休日は減便・運休を許容)	概ね 7~19 時 平日 (【C】幹線乗継ぎの利便性を確保)	概ね5~7 往復/日 平日 (【C】幹線乗継ぎの利便性を確保)

10-6 品質を保证するための具体的な取組

施策	1 幹線の運行				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通院、通学、観光に係る移動保証に留意し、運行を継続する。 ・幹線の運行のみで移動が保証されない場合は、次の対応を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 別路線での補完 ② 利用実態に応じた移動手手段の確保(ライドシェア、学校関係者等による送迎など) 【対象路線】 <ul style="list-style-type: none"> ① 上林線 ② 中野木島野沢線 ③ 合庁線 ④ 湯沢線 ※ 幹線を補完する路線 木島平シャトル便、野沢温泉ライナー <ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用状況等を継続的に調査し、利用実態等に応じて必要な便を確保するとともに適正な路線となるよう確認する。 				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・全体調整 北信地域別部会 ・運行主体 バス事業者、北信6市町村 ・運行実施 バス事業者 				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行内容確認 見直し	・運行継続 ・利用状況確認 ・移動保証確保策 検討	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
施策	2 支線の運行と広域連携・共同運行の検討				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通院、通学、観光に係る移動保証に留意し、運行を継続する。 ・地域拠点に接続していない場合、新規路線の運行を検討する。 ・効率的な運行となるよう広域的な連携や共同運行の実施について検討する。 				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・運行主体 バス事業者、北信6市町村 ・運行実施 バス・タクシー等交通事業者 				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行継続 (幹線側の運行 内容確認、見直し)	・運行継続 ・新規路線検討 ・広域連携等検討	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
施策	3 地域公共交通の利用促進				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各主体において以下の取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 県 地域公共交通網整備や利便性の向上に繋がる利用環境整備、利用促進の取組への支援 ② 北信6市町村 住民への利用呼びかけ、利用助成などによる利用促進 ③ 交通事業者 利便性向上のためのダイヤ改正、キャッシュレス決済環境・情報提供環境の整備等 ④ 関係団体 各団体に属する者や関係者等への利用の呼びかけ等 ・バス路線乗継拠点を中心に地域拠点の利用環境整備を実施する。 冬期でも待合いできるような上屋、椅子等の待合設備の設置等 				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・全体調整 北信地域別部会 ・実施主体 各団体 				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・利用促進策検討	・利用促進策実施 ・環境整備等検討	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒